

警察署協議会会議録

博多臨港警察署協議会

開催年月日時	令和6年9月12日 午後4時00分 から 令和6年9月12日 午後5時30分 まで	
開催場所	福岡県博多臨港警察署	
出席者	警察署協議会	会長、委員2名
	警察署	署長、副署長、地域管理官、総務課長、会計課長、生活安全刑事課長、交通課長、警備課長、事務局
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 今回の警察署協議会はグループワークと伺っている。これまでにない取り組みであり非常に楽しみにしている。本日もよろしくお願いします。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 目下、当署では周到綿密な捜査を行い重要凶悪事件を検挙した他、チケット詐欺対策、交通事故防止対策等にも力を入れている。また、管内行事も年末に向けて目白押しであり、今後も委員の皆様方の貴重なご意見ご指導を賜りたい。 ○ 本日は本年度2回目の協議会であり、定期異動で事務局が変わっているが、引き続きよろしくお願いします。 【議事等】 1 小グループ検討会 署員と委員による小グループを3班作成し、事件検挙や高齢者、障がい者等に対応した際の感謝事例を基に事例検討会を行った。 署員が各々経験や見解を意見発表し、委員が感想や所見を述べ、さらに両者で検討を行う等の形式で行われた。 署員からは、「想像力を持って県民に接すること。」「警察官が県民の困っていることについて気付く力が大事である。」等の意見が出され、委員からは「警察の敷居が低くなるように広報してもらいたい。」「皆さんが常日頃からこのように研鑽されている姿を見て感動した。」「まだ他の事例の検討会も参加したかった。」「時間が短かった。」等の意見が出される等非常に活発な討議となった。		

議 事 概 要

2 委員の感想

場所を移し、幹部が委員に対し、本検討会について意見感想を求めたところ、委員から

「警察がここまで県民に対応しているということを初めて知った。」

「警察と言えば悪いイメージを持っている人もいますので、職務執行を通じて頼りになる警察を具現化してほしい。」

「県民が警察に足を運ぶのは未だ敷居が高いので、いつでも来てほしいという働きかけを警察から行ってはどうか。」

「警察がバリアをとって一般人の目線で寄り添ってやることが大事。」

「いかに市民に響く広報活動を行っていくかが大事。」

「警察でこのように自己研鑽を積んでいることをもっとアピールできれば県民も身近に感じるのではないか。」

「グループ討議で現場を少しでも垣間見た気がして勉強になった。」

「こんなに寄り添ってくれるのかと本当にびっくりした。」

「良いグループ討議に参加できて良かった。自己研鑽になった。」

「素晴らしい対応した職員には署内表彰等を行って、さらにやりがいを持たせてはどうか。」

旨の意見や感想が出された。

2 【質疑応答】

○ 委員から、「マリンメッセ周辺の交通渋滞について、歩車分離や右折矢印、信号機設置等が可能か」旨の質疑があり、交通課長が「検討可能である」旨回答した。

○ 委員から「西鉄バスの急ブレーキにより将棋倒しとなった事故があったが、その現場は U ターン禁止ではないのか」旨の質疑があり、交通課長が「禁止区域ではない」旨回答した。

○ 委員から「チケット詐欺防止に向けた広報を船上から署長の声で呼びかけてもらっているが、最近はさらにバージョンアップしており本当に有難い。今後も引き続きお願いしたい。」等の意見要望が出された。

【閉会】

総務課長が次回開催予定時期及び当署 80 周年記念行事の案内を行い、本会議を終了した。

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要